厚化粧の顔を膨らませた。

識も含めたそれらを表現する えている文化や心意気、美意 だと思っている。その人の抱 つの要素と思うからだ。 私は装いというものを大事 まず日本で作った靴がパリ

リっ子が私の腕を取り、ドア

テレーズという威勢の良いパ 驚いた。24歳の私と同い年の にも人種的偏見があるのかと

を開けながら言い放った。

義

母

植民地へ帰るんですね」

子供の靴屋に行くか…

ある日、クリスチャン・デ

宗教のことなの?」

いふらすわ。汚いユダヤ人」

この店に来ないように言

の。ある事件がきっかけで祖

に離散していて国がなかった

寄る私を拒

強烈な憎しみの言葉に私は

19 **蒙快な人柄に魅了され** 

地

の塩」

自由愛し信念貫く

その履歴

えた女店主が私の足を見て、 に注文靴を作る有名店があっ に小さい。シャンゼリゼ近く 身長に比べて足が21%と極端 の空気に合わなかった。私は その店に入った。愛想よく迎 た。2人の女友達に伴われて そんな小さい靴は作れま に謝った。2人の会話に私は そもそもユダヤ人って何?) 混乱した。 ったの。ごめんなさい イスラエル人と言ったのか。 自分のことをユダヤ人でなく 緒の食卓で私は自分の混乱 その夜、夫や両親と知人も テレーズは慌ててニコール (ニコールはなぜ

あら、何てことを私は言 興り、建国を宣言したのがほ 知っているフランス国内をご んの10年ほど前のことよ」 国再建運動 分した19世紀末の「ドレフュ その事件は私もうっすらと (シオニズム) が

友人ニコールがほほ笑んだ。

私もイスラエル人なの

手足を鎖でつながれ悪魔島に 機密を漏洩した犯人にされ、 ス事件」だと義母は続けた。 流されたアルフレッド・ドレ フュス大尉は陸軍で唯一 ユダヤ人であるために軍の 容で自由を愛し、 腐敗を防ぐ塩のように人心の を貫く豪快な人だった。 え)という言葉を見つけた。 模範であれというイエスの教 かった私は聖書を読み漁り、 地の塩」 義母は他文化や他民族に寛 義母の言葉を聞き、 (マタイ福音書。 まだ若

それが僕の妻だなんて」と夫 という人がまだいたなんて。 を解いてもらおうと思った。 めた。「『ユダヤとは何ぞや』 一同が愕然として私を見詰 「ユダヤって人種のことな 別があると知り、 だけユダヤ人という人への差 ダヤ人にも純粋と、 ダヤ人士官だった。 ルはドレフュスの孫なのよ」 私は息をのんだ。そしてユ 「ニコー

彼

が感極まった声を出した。 義母がゆったりと笑った。 「ユダヤ人は長い間、世界 入ると味は変わるのよ おいしくないでしょう。

「塩の入ってないスープは 片方の親

ように手すりにもつかまらず 滑らしてステーンと転んだ。 に階段を降りると、足を踏み を見せ、ハリウッドスターの 女に手を差し伸べた私に笑顔 でド派手な帽子を買った。 ィオール本店にお供した。 60歳を過ぎた義母は真っ赤 慌てて駆け

夫国と義父母と 緒に歩 子をひょんと かったかのよ い、何事もな 大鏡に向か ち上がった義 み、すぐに立 うに大きな帽 母は真っすぐ

かった。 を弾かず、 いた手ではもうヴァイオリン 弟子も一切取らな 義母は年老

被り直した。

が入っているのではないかと 教えるのは嫌」。そんな戦母 女には少しばかり「地の塩 に私は魅せられた。そして彼 「私は天才なのよ。雑魚に

掲載日 2020年5月20日 日本経済新聞 朝刊 36ページ ©日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。